

平成25年度事業報告書

特定非営利活動法人サンキューネット

I 事業期間

平成25年4月1日～平成26年3月31日(年間活動日数365日)

II 事業の成果

1 ケアプランセンター

- ・ 障害者総合支援法により、障がい者(児)の方々の計画相談従事者の充足が期待される中、昨年度の2名に加え本年度は新たに3名が相談支援初任者研修を終え、相談員5名(内4名介護保険ケアマネジャー兼務)の体制となった。
- ・ 介護保険と障がいの両制度の計画作成に取り組むことにより、制度の違い・高齢者と障がい者に対する障がいの捉え方の違いなどがわかり、今までと違った観点からも利用者支援の取り組みができるようになった。

2 ヘルパーステーション

- ・ 介護職員による「喀痰吸引等の医療的ケア」の実施に向けて、実務者研修修了者に対する実地研修の仕組みづくりについて、1月、あおば訪問看護ステーション・富田林医師会訪問看護ステーション・総合ケアプランセンター・三幸福祉カレッジ(株)日本教育クリエイトと意見交換会を行なった。
実地研修への取組みについて、今後更に研究し、地域の訪問看護ステーションおよび三幸福祉カレッジ(株)日本教育クリエイトと今後も連携していくことを確認した。
- ・ 喀痰吸引等1号研修に介護福祉士2名、介護職員基礎研修修了者1名が、受講を開始した。26年7月に修了の予定。
- ・ 喀痰研修で習ったことを更に身につけるために、寄付金で購入した吸引器・喀痰吸引シュミレーター・DVDで、手技の練習に取り組んだ。
- ・ 体制加算の取得に向けて、検討を行なった。
サービス提供責任者とヘルパーとの連絡体制については、今後はメールを活用して行うことを定例会で話し合い決定した。これにより、ヘルパーと事業所間の連絡がより一層スムーズに行えるようになった。
また、ヘルパーの自己研鑽としてスキルアップ研修への意識が高まり、外部研修の受講にも取り組むヘルパーが増加した。実務者研修2名修了、3名受講中。
- ・ 寄付金で購入したAEDトレーナー・人体模型を使って、研修を行なった。

3 デイサービスセンター

- ・ 在宅生活をより支えたいという思いから、365日ノンストップサービスを掲げ、お泊りサービスにも取り組み、必要な時に必要なサービスを受けることができることで、安心感も得られ、利用者数も増加した。
- ・ 柔道整復師による機能訓練・リハビリを本格導入したことにより、体操や動作がもたらす効果を理解しながら取り組める環境が生み出され、利用者の方々がより積極的に楽しみながら取り組めるようになった。

- ・ デイ便りを年8回発行し、利用者や地域のケアプランセンターに届けた。
- ・ 利用者の皆様がいつまでも健康でいて頂きたいと、かねてより考えていた炭酸風呂の導入を実施した。湯冷めしにくくなったと好評だった。
- ・ 寄付金で購入したAEDを設置した。
また、緊急時にあわてずAEDが取り扱えるよう、AEDトレーナー・人体模型等を用いて職員研修を行なった。
- ・ お泊りサービスでは、個別の空間を作り安心して泊まって頂けるよう、間仕切り用カーテン、間仕切り用スクリーン、荷物入れ用の小チェスト、スタンド、ナースコールを準備した。また、介護ベッドの他に畳2枚を用意し、畳でのお泊りにも対応できるようにした。
- ・ 広島平和記念公園に、レクリエーションで折った千羽鶴を奉納し、平和の願いを届けた。
- ・ 利用者が日々取り組んでおられる写経(般若心経)をとりまとめ、高野山恵光院へ2回奉納した。

4 事務局

- ・ 仮認定NPO法人として平成25年6月27日大阪府より認定を受けた。
- ・ これまで寄付のお願いや賛助会員への誘いをほとんど行なえていなかったが、仮認定NPO法人となったことで、積極的にアピールできるようになり寄付金賛助金は延べ107件あった。
- ・ 頂いた寄付金等で、AED1台、AEDトレーナー1台、人体模型1体、ミニアン10セット、喀痰吸引シュミレーター1台、吸引器1台を購入した。その他、デイサービスセンター自動ドアを修繕し、残額は大浴場タイルの修繕費の一部に充当した。
- ・ 現物寄付として、ダイニングテーブル、車椅子、介護ベッド、マッサージ器、歩行器、ポータブルトイレ、下駄箱、食器、衣類、布団、紙おむつ、尿パット、洗濯乾燥機、食器乾燥機、ドラム式洗濯機、座布団、タオル等を頂いた。
- ・ 頂いた現物寄付は、主にデイセンターで使用の他、支援が必要な方に寄付したり、ヘルパー養成研修での教材として活用した。
- ・ テックスーパージャパンを通して、マイクロソフトとシマンテックに寄贈申請を行いパソコンソフトの寄贈を受けた。
Windows7Professional 32-Bit Get Genuine(正規フルインストール版)を9。
Office2013Standard(ソフトウェア アシユアランス込 日本語版)を15。
Norton AntiVirusを16。
- ・ 本年度は機関紙を4回発行し、毎回2500枚を地域に配布した。
- ・ 仮認定NPO法人となったことで、法人の設立目的を再認識し、「たすけあいの地域づくり」にむけて「時間預託を取り入れた ありがとうの輪活動」を再開するべく、地域の方々にむけた勉強会を2回行なった。
- ・ 次年度の活動に向けて、“地域の活動団体支援の仕組みづくり 「地域の輪活動」 ”と“地域での共助の仕組みづくり 「ありがとうの輪活動」 ”について、具体的な素案を作成した。
- ・ 富田林市福祉公社「けあぱる」を中心とした富田林市第3圏域「地域づくりたい」に協働参加し、定例会議(毎月)・出張相談会・事例検討会・広報紙作成等を共に行なった。

- ・ 地域密着型介護老人福祉施設「さえずり」で2ヶ月に1度開催される運営推進会議に出席し、意見交換を行なった。
 - ・ 「さわやか元気クラブ」を毎月定点で実施し、地域とのつながりの中で介護予防・相談支援等に取り組んだ。(参加者延べ177〔他団体との連携・交流〕)
 - ・ 2/16(日)エコール・ロゼにて開催された「ひろとん」に出展参加した。相談窓口を設置した他、パンフレットの配布、「たすけあいの地域づくり」の展示、紙おむつ・尿パット試供品の配布等を行なった。
- [介護員養成研修事業]
- ・ 第1期を6月開講で進めたが、受講申込者が少なく開講に至らなかった為、9月開講に変更し実施した。5名受講し、5名が修了した。
 - ・ 第2期は1月開講し、7名が受講中である。
 - ・ 寄付金で購入したAEDトレーナー・人体模型を使って、緊急事対応の研修を行なった。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 居宅サービスに関する事業

この事業では、利用者が要介護状態などとなった場合においても、可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるように配慮して、身体介護、その他の生活全般にわたる援助を提供。

また、介護予防事業では、利用者に対して可能な限り支援を要する状態を脱し、また、介護を要する状態にならないよう、利用者の改善の可能性を見つけ、できるだけ利用者が「している生活行為」の幅を広げていくことで、生活機能の向上を図り、利用者と共に利用者の「できること」を発見して引き出し、これを拡大し利用者の主体的な活動と参加を高めることを目指したサービスを提供。

いずれも地域生活自立支援・法令遵守を基底におき、制度で出来ること・できないことを明確にし、制度外の社会資源を活用したプランを提案するなど、生活に根ざしたサービスとなるよう提供した。

① 介護保険法に基づく指定居宅介護支援

内容	要支援・要介護者を対象に居宅介護支援サービス(ケアプラン)作成等の提供を行なった。
実施場所	サンキューネットケアプランセンター
実施日時	1年を通じて実施(9:00～16:45) (但し、原則 土・日・祝・12/29～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市等にお住まいの介護保険被保険者

	収入	支出	延べ利用者数
25年度	11,561,808円	15,826,692円	1,314 名
24年度	11,348,816円	15,242,297円	1,205 名
23年度	10,629,764円	15,238,383円	1,109 名
22年度	11,438,771円	16,436,843円	1,177 名
21年度	8,574,759円	13,101,725円	994 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	20	21	21	20	17	18	20	18	18	18	19	19
要支援2	21	23	24	23	24	26	27	30	32	33	32	29
要介護1	18	19	18	18	19	18	16	15	14	14	15	18
要介護2	23	25	23	21	21	21	21	22	21	21	21	20
要介護3	15	15	16	15	14	14	14	14	13	14	11	11
要介護4	7	7	6	9	10	12	11	10	9	9	9	9
要介護5	2	3	3	3	1	1	1	1	2	2	3	3
25年度合計	106	113	111	109	106	110	110	110	109	111	110	109

② 介護保険法に基づく指定訪問介護・指定介護予防訪問介護

内容	訪問介護・介護予防訪問介護サービスの提供を行なった。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00) (但し、原則 日曜日および1/1～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市等にお住まいの介護保険被保険者

介護保険	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
25年度	13,320,580円	12,152,560円	4,444名	4,336.5時間
24年度	14,651,933円	13,109,094円	4,847名	4,800.4時間
23年度	11,906,875円	12,942,984円	3,737名	4,571.0時間
22年度	14,494,680円	15,478,191円	4,670名	5,700.0時間
21年度	11,200,477円	12,731,336円	3,671名	4,212.0時間

介護予防	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
25年度	8,368,372円	7,203,755円	2,530名	2,532.00時間
24年度	8,317,190円	6,494,462円	2,534名	2625.9時間
23年度	8,490,815円	7,870,351円	2,630名	3291時間
22年度	7,641,872円	6,474,930円	2,356名	2356時間
21年度	7,124,927円	5,158,135円	2,040名	2563.5時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	19	21	22	20	19	19	20	18	18	18	19	19
要支援2	16	18	16	17	18	20	21	22	23	24	20	18
要介護1	11	10	11	13	13	12	12	11	10	10	10	11
要介護2	16	16	16	13	15	13	12	12	14	13	13	13
要介護3	8	7	9	9	8	8	8	8	6	9	7	7
要介護4	1	1	1	2	3	4	5	6	5	5	5	5
要介護5	3	4	4	3	2	2	2	2	3	3	3	3
25年度合計	74	77	79	77	78	78	80	79	79	82	77	76

③ 介護保険法に基づく指定通所介護・指定介護予防通所介護

内容	通所介護・介護予防通所介護サービスの提供を行なった。
実施場所	サンキューネット・デイサービスセンター
実施日時	毎日(9:00～17:00)実施 (但し、1/1を除く)
事業の対象者	富田林市、大阪狭山市、河内長野市、南河内郡太子町・河南町・千早赤阪村、堺市等にお住まいの介護保険被保険者

	介護保険		介護予防	
	収入	支出	収入	支出
25年度	64,514,342円	59,980,682円	2,694,764円	2,505,393円
24年度	50,388,097円	48,310,811円	3,497,244円	3,353,068円
23年度	61,782,179円	55,077,362円	3,435,709円	2,770,271円
22年度	55,330,734円	46,326,829円	4,762,922円	4,039,131円
21年度	51,176,294円	43,929,395円	5,251,331円	4,579,007円

通所介護(予防)	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度
延べ利用者数	8,132名	7,109名	8,341名	8,274名	7,606名	7,008名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	5	7	5	5	5	4	3	4	4	5	5	5
要介護1	8	9	11	10	11	13	11	11	11	12	11	11
要介護2	18	18	17	15	17	15	17	18	18	15	15	19
要介護3	21	24	25	24	24	21	22	21	19	21	22	20
要介護4	6	6	6	10	11	13	13	13	15	17	17	16
要介護5	5	5	6	6	5	6	7	7	8	7	7	6
25年度合計	63	69	70	70	73	72	73	74	75	77	77	77

④ 障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス事業

内容	障がいにより介護の支援が必要な方(身体・知的・児童・精神・難病等)を対象に、ホームヘルプサービス(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)およびガイドヘルプサービスの提供を行なった。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00) (但し、原則 日曜日および1/1～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市・堺市美原町等にお住まいで障がい福祉サービス(地域生活支援)受給者証をお持ちの方

居宅介護	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
25年度	3,499,012円	3,615,386円	1,008名	1,328.0時間
24年度	2,186,710円	2,153,297円	774名	967.5時間

重度訪問介護	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
25年度	255,976円	261,909円	73名	96.0時間
24年度	0円	0円	0名	0.0時間

同行援護	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
25年度	445,902円	478,126円	79名	177.0時間
24年度	534,796円	503,609円	99名	202.5時間

移動支援(ガイド)	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
25年度	546,800円	756,460円	141名	293.0時間
24年度	489,800円	532,672円	145名	235.0時間
23年度	494,800円	649,077円	218名	248.0時間
22年度	592,400円	787,372円	316名	324.0時間

21年度	631,329円	581,165円	291名	316.5時間
------	----------	----------	------	---------

参考

ホームヘルプ	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
23年度	3,030,280円	2,712,548円	917名	1157.0時間
22年度	3,550,623円	3,249,358円	1,051名	1299.5時間
21年度	4,031,819円	3,344,765円	1,226名	1585.5時間

注；23年度まではホームヘルプとして合算で表記

⑤ 障害者総合支援法に基づく指定特定相談支援事業

内容	障がいにより介護が必要な方の在宅支援のため、適切な福祉サービス利用ができるよう、サービス等利用計画(案)の作成・計画相談支援等を行なった。
実施場所	サンキューネット・ケアプランセンター
実施日時	9:00～16:45 但し、原則 日曜日および1/1～1/3を除く
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市にお住まいの障がい者(児)

	収入	支出	延べ利用者数	年度末実利用者数
25年度	1,460,760円	1,999,601円	110名	12名
24年度	382,284円	512,251円	27名	8名

実績請求件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25年度	7	7	8	8	8	8	8	7	10	10	11	8
24年度	/	/	/	/	/	/	1	1	5	6	6	8

⑥ 児童福祉法に基づく指定障害児相談支援事業
実績なし

⑦ ホームヘルプサービスに伴う特定旅客運送事業
実績なし

⑧ 市町村福祉施策に基づく受託事業
1) 軽度生活支援サービス

内容	富田林市からの受託事業。 65歳以上の自立の方を対象に、加齢や障害などで出来にくくなってきた事が、再び出来るようになって自立した生活が継続できるよう支援を行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	月曜日から金曜日(但し富田林市役所のカレンダーに準ずる年始年末及び祝祭日休み) 9:00～17:00
事業の対象者	富田林市民で軽度生活支援を給付決定された方

	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
25年度	522,110円	1,132,786円	502名	463.0時間
24年度	990,480円	2,159,654円	953名	964.5時間
23年度	1,067,920円	2,240,907円	977名	1,046.0時間
22年度	1,136,840円	2,293,900円	1,028名	1,107.0時間

21年度	1,506,800円	2,833,389円	1,576名	1,673.5時間
------	------------	------------	--------	-----------

2) 高齢者見守り訪問事業

内容	富田林市からの受託事業。 家に閉じこもりがちの方、見守りが必要な方などを訪問して、安否の確認を行ったり、相談や話し相手などを通して、介護予防や必要なサービスに繋ぐなど、他機関との連携を行なった。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	月曜日から金曜日(但し富田林市市役所のカレンダーに準ずる年始年末及び祝祭日休み) 9:00～17:00
事業の対象者	富田林市民で高齢者見守り訪問を給付決定された方

	収入	支出	延べ利用者数
25年度	364,800円	586,499円	464名
24年度	395,000円	562,846円	886名
23年度	540,200円	805,746円	886名
22年度	546,800円	598,228円	964名
21年度	559,100円	1,267,472円	801名

3) 認定調査

内容	市町村からの調査依頼に基づき、介護が必要な方のお宅に訪問し、介護認定の調査を行なった。
実施場所	サンキューネット・ケアプランセンター
実施日時	月曜日から金曜日(但し年始年末及び祝祭日休み)

介護保険	収入	支出	延べ利用者数
25年度	615,700円	842,818円	140名
24年度	710,500円	952,053円	161名

⑨ 制度外在宅福祉サービス

1) たすけあい訪問サービス

内容	“困った時はお互い様”の精神のもと、公的福祉制度や介護保険制度で対応できないサービスについて要介護者・要支援者を支援し、ご家族の支援を含めた視点で、自立支援をベースとした訪問サービスの提供を行なった。また、成年後見人や日常生活自立支援事業の金銭管理を受けておられる方で、ヘルパーの買物支援が必要な方の金銭を預り、入出金の記録(領収書添付)をまとめ、報告義務者宛に報告を行うといった支援も行なった。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00) (但し、原則 日曜日および1/1～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市、大阪狭山市等にお住まいの方

	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
25年度	1,636,700円	2,486,009円	803名	989.0時間
24年度	1,781,850円	2,112,260円	891名	1,082.7時間

23年度	1,356,345円	1,910,684円	743名	907.0時間
22年度	1,466,180円	2,197,244円	813名	1,063.5時間
21年度	1,550,848円	1,952,813円	732名	1,204.0時間

2) たすけあいデイサービス

内容	“困った時はお互い様”の精神のもと、必要な方に必要なサービスを提供できるよう、介護保険限度枠を超えて要介護者を支援し、ご家族の支援を含めた視点で、地域生活自立支援をベースとしたデイサービスやお食事の提供、緊急時対応のお泊りサービスを実施。介護保険給付限度枠内の通所ご利用者の食事提供も行なっている。
実施場所	サンキューネット・デイサービスセンター
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00)
事業の対象者	富田林市、大阪狭山市等にお住まいの方

	25年度		24年度		23年度	22年度
収入	5,736,348円		4,486,441円		5,500,963円	5,415,688円
支出	3,737,571円		4,301,484円		4,104,106円	4,342,537円
延べ利用者数	デイ	17名	デイ	45名	310名	340名
	ショート	860名	ショート	148名		

* 延べ利用人数は、デイサービス食事提供者数およびスタッフ食を除いた人数

(2) 本会の目的を達成するための研修・啓発など

① 介護員養成研修事業

実施場所	講義・演習；すばるホール
実施課程	初任者研修課程
事業の対象者	訪問介護サービスやその他介護サービスに従事または従事を希望する方で、全講座を指定した日時、場所で受講できる方

	25年度	24年度
開講月	9月、1月	4月7月12月2月
コース数	2コース	5コース
延べ受講者数	12名	112名
収入	1,167,600円	7,753,000円
支出	3,737,571円	5,222,529円

IV 総会の開催状況

1. 第14回定期総会

2. 日時 平成25年5月28日 19:00～20:30

3. 場所 富田林市五軒家一丁目4番11号
サンキューネット・デイサービスセンター

4. 社員総数 66名

5. 出席者数 62名 (内委任状出席者54名)

6. 議案の内容

- ① 平成24年度事業報告及び収支決算報告、並びに監査報告
- ② 平成25年度及び平成26年度事業計画・予算案に関する件
- ③ 定款変更に関する件

- ④ 任期満了に伴う役員理事・監事改選に関する件
- ⑤ 役員報酬に関する件
- ⑥ 長期借入金に関する件
- ⑦ 議事録署名人の選出の件
- ⑧ 仮認定NPO法人申請の経過報告

7. 審議結果

全員異議なく承認。

V 理事会その他の会議の開催状況

1. 平成25年度理事会

- ① 1) 日時 平成25年5月29日 20時25分
- 2) 場所 サンキューネット加太事務所
- 3) 理事総数 7名
- 4) 出席者数 7名
- 5) 議案の内容 理事長・副理事長の選定

- ② 1) 日時 平成26年3月28日 14時～15時
- 2) 場所 サンキューネット加太事務所
- 3) 理事総数 7名
- 4) 出席者数 4名 書面表決者 3名
- 5) 内容 長期借入金の返済計画案について
定款変更について
消費税改定に伴う利用料改定について説明
次年度へ向けての取り組みについて説明

2. 運営会議

年間を通して毎月1回定期開催

メンバー； 事業ごとの管理者

理事・監事にも運営会議の日程を案内している。

内容；

各部門の事業実績報告、今後の取組みなど、情報交換を行なっている
各部門間の相談・助言の場としても機能している。

3. 定例会

各事業部門毎に、年間を通して毎月1回定期開催

メンバー； 各事業部門のスタッフ

内容； 運営会議の報告、意見交換、情報交換、研修等を行なっている。